

令和7年3月12日

令和6年度第12回理事会議事録

日時：令和7年3月12日（水） 18時30分～19時30分

会場：（一社）大阪府理学療法士会生涯学習センター事務所

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、實光理事、千葉監事、黒田監事、安積局長、田箆局長、辻岡局長

総務部：天野、藤原

欠席者：神尾監事、早瀬局長

書記：天野、藤原

令和6年度第12回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和6年度第11回理事会議事録

資料参照のうえ、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行 27 件・委嘱状 14 件、財務部は来年度予算案の最終修正、謝金の財務処理方法の検討、年度末に向けた各部の財務管理を行った。また、井阪副理事長より5月のGW明け会計監査を予定しており、3月末までに書類の準備を行うとの報告があった。

安積局長（情報管理局）より、資料に基づいて報告があった。SM 部はセンターHP 管理運営、研修会・学会の広報、センター主催研修会の広報を実施し、前回理事会で話題に上がったセンター独自ニュースについて、見つけやすいように新たにバナーの作成を行った。ニュース編集部は府士会ニュース308号の校正、センター独自ニュースの発行、3月センター主催研修会情報のプッシュ通知、センター独自ニュース記事の編集等発行に向けた準備を行った。SE 部は大阪学会のサポートを行った。中川理事長より、センター独自ニュースを順調に発行できれば、府士会ニュースの方をどうするかを相談を府士会と行うとのことであった。井阪副理事長より、過去のニュースを閲覧は難しいのか質問があった。新たにタブを作成するためには現在のHPを作り直す必要があり別途予算立てが必要になり見送る。

田箆局長（生涯学習局）より、資料に基づいて報告があった。

センター主催研修会の2月開催分について、市区町村士会からの各種申請及び問合せの対応 2025 年度開催主催研修会準備、第1回3士会合同研修会を開催した。第7回生涯学習研修集会の講師・日程調整を行った。

学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中4件、論文受理2件、早期公開1件である。懸案事項として、対面研修会開催後の会員への報告記事の掲載と、府士会アンケートの調査結果に関する情報提供の2点が挙げられた。

1点目について鈴木理事より、今後は府民を対象にした府民公開講座の企画もあり、よりリアルタイムで広報を行っていくために、府士会広報部にも協力を依頼したいと提

案があり、實光理事より、予定を組んでおけばリアルタイムで HP を更新することも可能であるとの説明があった。

また、その他の話題として、次年度 9/23 に予定している 3 士会合同セミナーにて府民への啓発活動（相談会等）の協力について、府士会と相談を検討する必要があるとの話があった。

辻岡局長(教育局)より資料に基づいて報告があった。

学術大会部は定例会議の実施と、今後のサポート方法の検討、第 37 回大会の当日部員募集のためのセンターニュース作成と、授賞式の準備、第 38 回大会準備委員長及び局長への委嘱状発行・大会 Slack への参加・部員選出のサポートを行った。

臨床実習教育部は、臨床実習指導者講習会の修了証発送・次年度へ向けた準備、臨床実習前評価の統一化について WG の全体会議・次年度取り組みに向けた準備、認定臨床教育者講習会について Master 講習会開催・次年度計画と講師依頼について行った。

研修理学療法教育部は、新人症例発表会・後期研修（C・E 項目）を実施し、総括ミーティングも実施された。

イ 305 事業 事業報告と来年度取り組みについて

辻岡局長より、305 事業【臨床実習教育基準に関する事業】に関する事業報告と、次年度の取り組みについて報告された。

実習前評価結果を“実習前評価共有シート”に落とし込み、実習指導者に共有することで、指導計画の立案や技術指導に活用することを目的とし、来年度より「各養成校にて実施される実習前評価(OSCE もしくは技能試験)より、ROM 測定と MMT の評価内容(技能、態度)を実習指導者に共有する」ことに協力を求める。

今後は、実習後のアンケート協力をお願いし、その結果から取り組みに関する検討を重ねていく。各理事より質問が多く寄せられたが、すでに協議されていた部分が多く、実習前評価表は共有できないという養成校や各養成校間での実習前評価の差が大きかったこともあり、今回は実習前評価の統一化が困難であったとの説明があった。

(3) 審議事項

ア 学術誌編集部の部員退任について

鈴木理事より、資料の通り報告があった。

欠員については令和 7 年度定時総会までは補充せず、現部員で業務継続する。

特に異論なく、全員の賛成が得られ本議案は承認された。

4 その他

ア 令和 7 年度生涯学習センター年間予定表について

本田理事より共有された。

変更点は、令和 8 年度 4 月 14 日（水）の第一回理事会は 4 月 8 日（水）に訂正する。

6 月 22 日（日）第 6 回定時総会（於：AP 大阪宿屋橋）の“宿屋橋”を淀屋橋に修正する。

イ 令和 7 年・8 年度の理事候補者の選出について

1 月に実施された令和 7 年・8 年度の役員選挙のうち理事立候補者が定数に満たなかったことを受け、候補者について話し合われた。候補者の選出は前回の理事選挙に立候補されたが、当選しなかった者から行った。結果、第一候補者 辻畑先生(現 SE 部部長)、第二候補者 村西先生が推挙された。事務局を通じて打診する。

以上